

こどもが主役のこどもの街「キッズニア東京」

ヤマト運輸の“宅急便の仕事”大好評

2006年10月、東京・豊洲にオープンした「キッズニア東京」は、こどもたちが仕事を通して、楽しみながら社会の仕組みを学ぶテーマパーク。日本初のエデュテインメント・タウン^{*}として、数多くの企業の参画を受けてスタートしました。ヤマト運輸もオフィシャル・スポンサーとして出展しています。



空港、テレビ局、新聞社、警察署、消防署、病院、パン工場…そしてヤマト運輸の「宅配センター」。キッズニアには、約50種類に及ぶパビリオンが、実際のおよそ3分の2の、こどもサイズでコンパクトに立ち並んでいます。こどもたちはここで、自分の憧れの仕事を、制服を身につけて、体験することができます。さらにキッズニア内の通貨「キッズ」を使って給料が支払われ、サービスを受けたり、買い物をしたり、預金をしたりすることもできます。体験を通して社会のルールやマナー、経済システムや将来の職業へのイメージづくりを学ぶことができるのです。実際に、訪れたこどもたちは大喜び。あっという間に都内でも人気のスポットとなりました。日経MJが選ぶ2006ヒット商品番付にもランクインしています。



ヤマト運輸のパビリオン「宅配センター」では、“宅急便の仕事”をテーマに、物流の仕組みや役割を楽しく学ぶプログラムを用意しました。仕事の説明を受けたこどもたちは、ドライバーの制服に袖を通し、荷物の集荷・仕分け・積み込み・配達、そしてお客様のサインをいただいて、確認、給料をもらうまで一貫して体験します。実際に体験しながら、こどもたちに挨拶やマナー、真心をこめたサービス、仕事をやり遂げる大切さなどを身につけてほしいと願っています。

*エデュケーション(学び)とエンターテインメント(楽しさ)を組み合わせさせた造語

